

△陸上男子①高山②益田③大野	女子①高山②益田③大野
△サザカ一般①吉城②高山③大野	女①高山②益田③吉城
△テニス男①高山②益田③吉城	壮年①高山
△バドバ男子①高山②大野③益田	女子①高山②吉城③大野
△柔道一般①吉城②高山③大野	女子①高山②益田③吉城
△バドバ男子①高山②吉城③大野	女子①高山②吉城③大野
△デフコト男①益田②高山③大野	女子①高山②吉城③大野
△一子①益田②大野③高山	女子①高山②吉城③大野

井駒体育会

副会長 富田重則氏が逝去
富田副会長（七〇）は、六月二十八日急逝されました。平成五年四月理事に就任、同十一年四月からは副会長を務められ体育協会の発展に貢献され、又、平成五年から同十三年まで高山市バスケットボール協会長を歴任され、協会発展に尽力されました。ここに、謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り致します。



△剣道	一般①益田②高山③大野
△駄蹴	一般①吉城②高山③大野
△壮年	①高山②吉城③益田
△一塙	①益田②高山③益田
△女塙	①高山②大野③益田
△家庭	①益田②高山③益田
△卓球男子	①大野②吉城③高山
△女子	①高山②大野③吉城
△ソフトボール	①高山②益田③吉城
△以上才	①高山②益田③吉城
△ダービー	①高山②益田③大野
△空手	一般①高山②吉城
△ボーグル	男子①吉城②高山③大野
△射撃	女子①高山②益田③吉城
△ハイキック	①高山②吉城③益田
△トクダ	①吉城②高山③益田
△総合成績	①高山市②益田郡
③吉城郡	④大野郡

この人に こんにちは

今回は、日枝中女子ハンドボール部のコーチとして8年間で県中体連5連覇、全国大会でも準優勝が1回、ベスト8が2回と、特筆すべき優秀な成績を修め、現在も多忙な勤務にも拘わらず熱心に指導をしておられます井上公男さんを訪ねました。

- ・特に気をつけてい
ることは
 - ・何年も良い成績を
続けられる秘訣は
 - ・優秀な選手を育て
るには

子供の気持ちが理解できるように、常に子供に目を
向け、よく觀察し変化を見極める努力。
3年間の成長に合わせて技術、精神、体の成長の3
点を考慮した指導を心がけていることと、目標は高
く、日本一になることを目指している。
ビデオ等で「本物」を見せるようにしている。
例えば、レベルの高い試合、プレー、全国大会の表
彰式等。特に刺激を受けた選手が伸びる。
もう一点は、センスがある選手ほど、変に可愛がら
ずに、突き放すようにし、しっかり見ながら距離を
置くことで本人のやる気の高揚を図る。

[筆者の所感] ハンドボール界の環境も含めて非常に視野の広さを感じ、大変優秀なコーチの一端をかいしま見ることができた。話の内容は大いに含蓄があり強いチーム、優秀な選手を育てる多くのポイントが含まれていた。今後も長くコーチとして中学のハンドボールのレベルアップに尽力していただきたいものだ。

Fair Play

た富田重則副会長の突然の逝去は、市体協関係者にとって大変ショックであった。▲富田氏の体育協会役員就任は平成五年からの常任理事、十一年からの副会長と九年間であるが、氏は以前から市体協と深い関わりを持つて居られた。▲昭和三十八年四月、四十年岐阜国体に向けての市国体事務局職員となり、国体種目であるハンドボールとバレー・ボールの会場づくりと競技役員養成に奔走される傍ら、市体協の運営にも尽力された。▲当時、筆者も富田氏の励ましでハンドボール普及に努め今日に至っている。▲また富田氏は、中体連理事長、会長を歴任され、今までなお指導力を發揮されてきたが、学校部活が新しい局面を迎える今、重要な人を失った感を抱く。▲市体協にとっても、法人化後の日も浅く、新体育館の運営等も含め課題多い中、実直で洞察力にも富んでいた氏を失ったことは残念の極みである。ご冥福を祈る。

平成12年度 財団法人高山市体育協会収支決算書

【収入の部】

科 目	決 算 額	摘要
1. 基本財産運用収入	1,490,604	基本財産定期預金利息
2. 会 費 収 入	4,054,000	会員会費、賛助会費
3. 事 業 収 入	1,232,500	新年総会会費、市民健康マラソン参加料
4. 補 助 金 等 収 入	29,610,000	市事業受託、県体協補助金、一般補助金、飛騨体協事務受託
5. 雜 収 入	926,853	
6. 繰 越 金	128,919	
計	37,442,876	

【支出の部】

科 目	決 算 額	摘要
1. 事 業 費	26,096,924	給料手当、福利厚生費、会議費、市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、県体派遣費 地区体派遣費、市民登山の会、強化費、助成金、表彰費、新年総会費、印刷製本費、奨励費、スポーツ振興業務
2. 管 理 費	7,605,252	給料手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、負担金、支払手数料、交際費、使用料、雜費
3. 特定預金支出	1,647,168	退職給与引当金積立、六十周年特別積立
4. 予 備 費	585,028	
計	35,934,372	

$$(収入合計) \quad (支出合計) \quad (次期繰越金)$$

平成13年度 財団法人高山市体育協会収支予算書

【収入の部】

科 目	決 算 額	摘要
1. 基本財産運用収入	1,418,710	基本財産定期預金利息
2. 会 費 収 入	3,900,000	会員会費、賛助会費収入
3. 事 業 収 入	1,150,000	新年総会会費、市民健康マラソン参加料
4. 補 助 金 等 収 入	32,530,000	市事業受託、県体協補助金、一般補助金、飛騨体協事務受託
5. 雜 収 入	403,290	
6. 繰 越 金	1,200,000	
計	40,602,000	

【支出の部】

【支岡の部】		(単位：円)
科 目	決 算 額	摘要
1. 事 業 費	29,928,000	給料手当、福利厚生費、会議費、市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、県体派遣費 地区体派遣費、市民登山の会、委託費、強化費、助成金表彰費、新年総会費、印刷製本費 奨励費、スポーツ振興業務、施設管理事業委託
2. 管 理 費	9,449,000	給料手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、負担金、支払手数料、交際費、使用料、雑費
3. 特定預金支出	816,000	退職給与引当金積立
4. 予 備 費	409,000	
計	40,602,000	

上記の決算、予算書から一三

長引く景気の低迷から、預貯金等の基本財産からの利息収入での財源が全く当てにならず、依然として市民各位からの賛助会費に協力運営を依存している現状であります。

また、大変喜ばしいことであるが、近年、協会傘下の各競技団体の競技力向上が著しく、全国レベルとなり全国大会出場機会が多くなっています。それに伴って体育協会からの激励金交付も増えて来ています。

主に西日本山岳協会から、また、山岳会員の皆様へお贈りするため、西日本山岳協会各会員各位には賛助会員獲得のため、一層の努力をお願いするものであります。